

令和7年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 吉田 中学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、3年生を対象として、令和7年4月17日（木）に、「教科（国語、数学に関する調査）」、文部科学省が指定した日（4月14日から4月17日の間）に「教科（理科に関する調査）」、「生徒質問調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語、数学、理科）

教科に関する調査（国語、数学、理科）
① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

(2) 生徒質問調査

生徒質問調査
○ 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

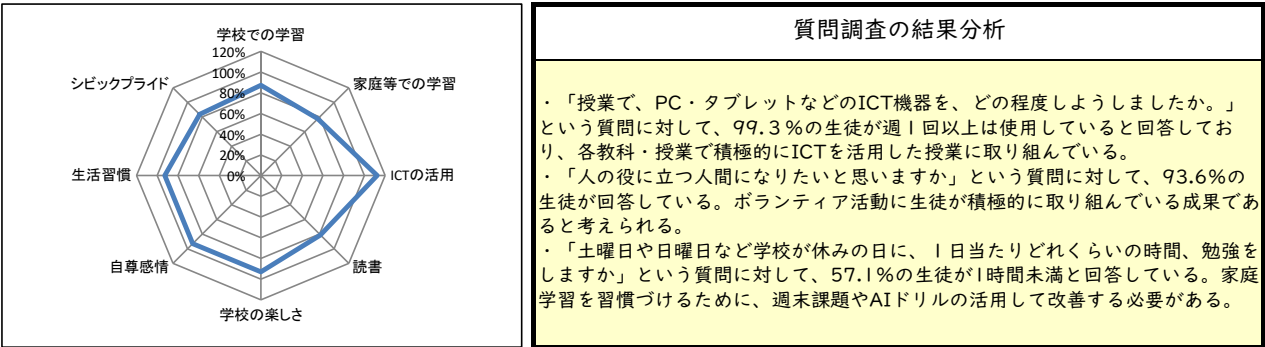
(1) 全国・本市の学力調査（国語、数学、理科）の結果

本年度の結果	国語		数学		理科
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均IRTスコア
本市	7.4	53	6.7	45	492
全国	7.6	54	7.2	48	503

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができる力は身に付いている。 自分の考えが伝わる文章になるように表現する力や文章の構成や展開について、根拠を明確にして考える力が低い傾向にある。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よくできた問題	「兄」と「弟」が、物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書く問題	
	努力が必要な問題	「一 榎木の実」に書かれている場面が、「二 釣の話」には書かれていないことによる効果について、自分の考えとそうように考えた理由を書く問題	
数学	全体的な傾向や特徴など	必ず起こる事柄の確率について理解している。 式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見だし、数学的な表現を用いて説明する力が低い傾向にある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	Aの手元のカードが3枚とも「グー」、Bの手元のカードが3枚とも「チョキ」でじゃんけんカードゲームの1回目を行うとき、1回目にAが勝つ確率を書く問題	
	努力が必要な問題	$3n$ と $3n+3$ の和を $2(3n+1)+1$ と表した式から、連続する二つの3の倍数の和がどんな数であることを説明する問題	
理科	全体的な傾向や特徴など	情報を収集してまとめを行う学習活動の場面で、収集する資料や情報の信頼性についての知識及び技能が身に付いている。 実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明できる力が低い傾向にある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくできた問題	「Webページの情報だけを信用して考察してよいか」について判断し、その理由として適切なものをすべて選択する問題	
	努力が必要な問題	【考察】をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述する問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問調査結果の概要



全国平均を100としたときの本校の割合

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・授業における、ICT機器の活用は進んでいる。
- ・授業における、資料や文章、話の組立てなどを工夫し表現する活動を充実させ、主体的に取り組むことができるように授業改善を行う。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・週末課題への取り組みを充実させるために、AIドリルを活用し、より効果的な活用方法を検討していく。
- ・毎トレノートの取組を見直し、AIドリルを用いて家庭学習への取り組み、主体的な学びが出来るよう工夫していく。